

発行 熊本市立花園小学校
 責任者 学校長 杉本佳秋
 〒860-0072
 熊本市西区花園6丁目9番15号
 ☎096-355-0258

花いっぱい!笑顔いっぱい!
花園小
 校訓「健康・英知・勤勉・洗心」

ホームページはこちら



子どもたちの心の状態について②～心のアンケート結果より～

学校だより17号の続きで、12月に実施した「心のアンケート」について報告します。

【自分のことに関する子どもたちの意識】

質問2は、自分の学びに関する意識です。

約1割の子どもが、自分の学びに自信がもてていない現状が分かりました。相談等の機会を利用して、どんな教科の学習に苦手意識をもっているのかを把握する必要性を感じました。

質問3は、自己肯定感・存在感に関する意識です。約3割の子どもが、自分への自信をもてていない現状があります。子どもの頑張りを認める、良さを積極的に評価する、家庭と学校が連携した取組が必要であると感じました。

【「いじめ」に関する現状】

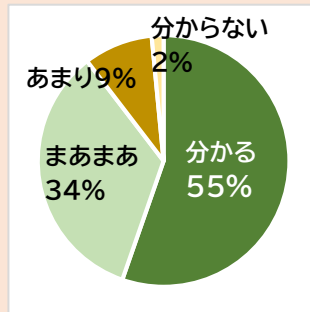
今の学年になっていじめを受けた子どもが80名(20%)いました。いじめの内容で多いのが、暴力、強い言葉による脅しです。「いじめ」は、学校と家庭で連携協力することで必ず解決できます。今後、教育相談等で詳しい状況を聞き、解決できていない案件については早急に取り組んでいきます。また、いじめを受けた29名が誰にも相談しておらず、話せる人がいない、心配かけたくないと答えていました。自分一人で解決できない悩みは、誰かに相談することで解決できることが多いです。子どもがSOSを出すには、周りにSOSを受け止める風土が育ってないといけません。SOSの出し方教育を低学年から実施していく必要性も感じました。

また、今の学年になって、誰かに嫌なことを言ったり、したりした子どもが78名(20%)いました。その理由として多かったのが、相手に嫌なことを言われたりされたりした、イライラしていたと答えています。「やられたからやり返す」では、負の連鎖が止まりません。自分の主張ばかりしても相手との対立を深めるだけです。言い争いが殴り合いに発展することもあります。

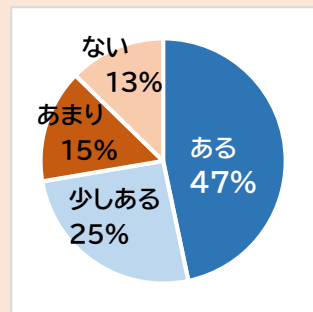
子どもたちがこれから生きていく社会は、多様な考え方、感じ方がさらに進んでいくと思います。相手を尊重しながら、分かりやすく自分の主張ができる力、「AかBか」ではなく、複数の意見のよいところを整理して新しい考えを生み出す力、相手とうまく折り合いをつけていく力などが求められています。コミュニケーション力を高めることで、相手との関係は良くなります。学習の中で、話す力・聞く力・話し合う力を伸ばしていかなければならないと思います。そして、相手のことを思いやる心の醸成や言語環境の向上に取り組み、いじめをしない・させない集団づくりを進めていきたいと思っています。今後とも連携協力のほど、よろしくお願いいたします。

12月実施アンケート(394人回答)

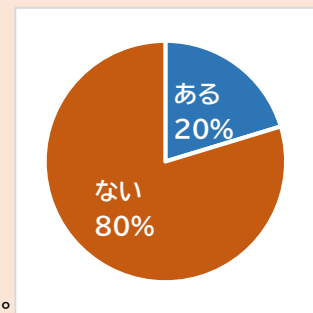
質問② 授業が分かる



質問③ 自信あること



質問④ いじめについて



お子様のことで、相談がありましたら、遠慮なく学校までご連絡ください。